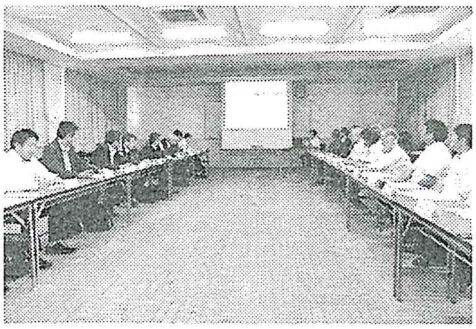
平成３０年７月３日（火）建通新聞

松山工高でキャリア教育意見交換

スペシャリスト育成推進会議

２０１８年度地域産業スペシャリスト育成推進会議が６月21日に松山工業高校であった。将来の地域経済を担う高校生のキャリア教育について、企業や団体と高校関係者が意見を交換した＝写真。

内藤善文校長は「優秀な人材の地元定着は地域にとって大きな課題。人材を送り出す側である本校のキャリア教育に関しご意見をいただき、内容をさらに充実させていきたい」とあいさつ。



インターンシップ、匠の技教室、企業見学など実施状況の説明があった後、参加者が意見を述べた。愛媛県空調衛生設備業協会の土居仁会長は資格取得などキャリア形成における支援、県建設業協会の福田一夫主事は青年部世代と在校生徒が交流する機会の設置を―といった考えを説明。県測量設計業協会の武智秀樹理事は機械化の進展で土木業界のイメージは様変わりしていること、愛媛基礎工事業協同組合の田中清久代表理事は女性活躍の機会が増えていることなどを話した。